

日本では

こんにちは!! こころの国際交流



イナラハン・ミドル・スクールの生徒の歓迎を受ける

グアムの中学生の子との交流 1年 西松芽以

グアムの子と交流する時、ちゃんとできるか心配でした。特にミサंगा作りはちゃんと教えないとできないので、糸をどうするかまで教えることが大変でした。最初ミサंगाを作っていく時、ちゃんとできていない子がいてすごく大変でした。身ぶり手ぶりで教えました。わたしはすごく必死でした。すると慣れてきたみたいで最初とは全然ちがうようになって、ひと区ぎりひと区ぎりがどんどん速くなっていくのですごくビックリでした。

習字の時は、やっぱり書き順とかは違うけれど、最初からお手本をしっかり見て書いていました。そのあとに自分の名前を書いたりする時もずっとお手本を見て書いていたので、集中力がすごいあるなあと思いました。

学校を見て回るときに日本の学校と違う所がすごくありました。私は最初にパソコンをやっている部屋に行きました。日本ではパソコンはあまり使わないけれどグアムの学校は、使うということがやっぱり違うと思いました。その教室でやっている時にすぐに女の子が話しかけてくれてすごくうれしかったです。すぐに仲よくなって、その女の子はすごく笑顔でおもしろい子でした。仲よくなれてすごくうれしかったです。

その次は理科の教室にいった時や英語の授業の時、日本と違うと思ったことは、あまりノートを使わないということです。日本は、英語や理科ではノートを書いてばかりなのにグアムでは、先生と会話をするように授業をうけていて日本よりも楽しそうでした。ノートと向きあってやっているより、ずっと先生と会話のように授業をやっている方がいいと思います。日本でもこのようにして行ってほしいと思いました。

給食は教室ではなく、食堂でクラスや学年関係なく食べるのですごく楽しそうでした。日本は、グアムにたくさん学ぶことがあると思いました。

たくさん学べた海外派遣事業 2年 森 祐月

私は、この海外派遣事業の4日間を通して、グアムと日本の違いをたくさん学んでおくことができました。まず学校の設備について気付いたことがあります。それは、校内に自動販売機があったことです。日本の場合は私立にはあると思いますが、公立では考えられません。グアムの学校にあって、とてもびっくりしました。

また、実際に私たちも授業を受けて分かったことがあります。それは、授業中は挙手をして答えたりするのではなく、自分の意見をほとんどの人が持っていて、口に出して次々と答えていました。このことから、グアムの人たちはとても積極的で、考えが豊かだと思いました。

次に、グアムの子を見て分かったこと。それは私たちと目があうと、誰でも必ず「ニコッ」としてくれます。その時の私はとてもうれしい気持ちになりました。この「ニコッ」でいやな気持ちになる人はいないと思います。むしろ、みんなが良い気持ちになれると思いました。だから、私たち日本人も、どんな人たちに対しても明るく接することができると思いました。ちょっとしたことで、周りの人を明るく良い気持ちにさせることができるということが分かりました。明るいということ。それは、とても大切なことなんだということも学んでおくことができました。

私にとって、この4日間はとても1日1日が大切な日でした。たったの4日間ですが、この短い間でもいろいろな日本との違いや、これからの私たちにできそうなことをたくさん学んでおくことができたのでよかったです。

この企画に参加して、とても良い体験をすることができたので、参加できたことをとても誇りに思います。学んできたことをムダにしないように、これからの私の生活に生かしていきたいと思いました。